

環境にやさしいレンコン産地の育成

鹿行農林事務所 行方地域農業改良普及センター

行方地域は、霞ヶ浦（西浦）と北浦の湖畔沿いに広がるレンコン産地です。霞ヶ浦等環境にやさしいレンコン産地を育成するために、品種の特性に合った適正施肥の成果を基にレンコンの吸肥特性に基づいた施肥量の削減に努めています。また、いばらきレンコン優良系統選抜プロジェクトチームで優良種バスを選抜し、優良系統の原種増殖圃の運営支援等を行い、産地の維持発展を図っています。

効率的な施肥技術の実証

霞ヶ浦等湖沼にやさしい農業対策事業等を活用し、レンコンで普及している品種「金澄系」に適した新規の肥効調節型肥料を用いて実証圃を設置しました（写真1）。「金澄系」レンコンの吸肥特性にあった肥効調節型肥料を使用することで、慣行栽培より少ない施肥量で同程度の収量が得られました。

これらの結果を講習会等で周知し、慣行施肥量を減らす生産者が年々増加し、環境負荷軽減と低コスト生産を図ることができました。



写真1 減肥実証圃の生育



写真2 現地適応性試験における収穫物調査

優良系統種バスの増殖と配付

いばらきレンコン優良系統選抜プロジェクトチームに参画し、年内掘りに向く優良系統の「パワー」、「ひたちたから」と、年明け掘りに向く優良系統「みらい選抜」、「金澄39号」を選抜しました。

更に、行方地域で適応性試験を実施し、「パワー」「ひたちたから」「みらい選抜」を地域で選抜し（写真2）、この3品種を行方地域の生産組織で増殖し、種バス配付を行います。今後、優良系統を普及させることで農家経営及びレンコン産地の発展を目指します。

レンコンネモグリセンチュウ対策の周知

産地で被害が懸念されているレンコンネモグリセンチュウの発生実態を把握するためにアンケート調査を行い、園芸研究所と連携してセンチュウの分離調査を希望者に対して実施しました。

また、行方全域の生産者を対象に栽培講習会を開催し（写真3）、レンコンネモグリセンチュウの生態と対策を周知しました。次年度は被害軽減を目的とした早掘り収穫及び石灰窒素の散布を行い、レンコンネモグリセンチュウの対策を推進します。



写真3 JA・任意組合・個人生産者を対象にした栽培講習会